

コムケアフォーラム2003in仙台について

宮城大学事業構想学部事業計画2年 金桂花

今回はじめて、コムケアフォーラムに参加しましたが、本当に面白かったです。今まで触れたこともないし、聞いたこともない内容に圧倒的に惚れ込んでしまいました。大学の授業と全然違う雰囲気や違うメンバーでいろんなことを学べるのが貴重なチャンスだと思いました。

今回のコムケアフォーラムに参加して、一人の留学生として、今の日本は物質的に飽和状態になって、精神的な何かを求めているのではないかと思います。例えば、コミュニティやケアやNPOなどは物質的に一定の水準に達していなければ、考える余裕がありません。ヨーロッパやアメリカなどで福祉事業がちゃんとできているのは、たぶん経済的に余裕があるからだと思います。食糧問題も解決できなかった国が福祉を強調するのは、ありえないことだと思います。

また、佐藤さんのように豊かな社会を作るために、熱心に自分の信念を貫く人々がたくさんいる日本が不思議だなと思います。物事を考えるだけでなく、できるだけ実行に移す姿に感心します。多分、世の中、何かをはじめするためには、時間、努力、才能、財力などが必要ですが、これは全てではないと思います。一番大切なのは、勇気と責任感だと思います。今回のコムケアフォーラムにおいて現場で必死に実行している方々と出会っていることで、自分が今まで気付かなかったことに気付くようになりました。

それから、午前の荒川さんの「コミュニティについて考える」を聞いて、日本の将来が見えたような気がします。こんな若者が敏感に社会の言葉の流れをキャッチするなんて、素晴らしいことではないでしょうか。普通の人だったら、何気なく流れに従って使う言葉かも知れないが、荒川さんは、それに気づいて自分なりの解説を取り上げる勇気と才能に尊敬します。

これからの、日本社会を変えるためには、やっぱり荒川さんのような若者の考え方から変えていく必要があるのではないのでしょうか。若者は社会の蕾だと思います。感受性が強い若者から社会の変化を望めることは、とてもすばらしいと思います。

日本のNPO事業も、これからは若者に期待されると思います。コムケアフォーラムはこれから学校や大学と繋がって活動したら、もっと活発になるのではないのでしょうか。普段の生活では学べない、貴重な場所を作ってください、心から感謝します。いろんな刺激を受けて、たくさんの課題を自分に感じます。